

平成24年度 第1回 地域密着型分科会 会議要旨

1 議事

第3次北九州市高齢者支援計画に基づく複合型特別養護老人ホームの事業予定者公募選定について

2 開催日時

平成24年5月18日(金) 18:30～21:10

3 開催場所

本庁舎8階 82会議室

4 出席者

構成員 中野分科会長、中村副分科会長、財津構成員、野村構成員、丸林構成員
事務局 介護保険・健康づくり担当部長、介護サービス担当課長、介護保険課長、
ほか4名

5 会議の非公開理由

会は、不開示情報(北九州市情報公開条例第7条)に該当する事項について意見交換するため、非公開とする。

6 会議の内容

議事次第、選定基準、選定のルール等について事務局より説明
応募法人の提案概要及びヒアリング結果について事務局より説明
応募法人の提案に対する評価について意見交換

応募法人の提案の評価に関する主な意見

【年長者の里】

各項目の「基本的な考え方」、「具体的な取組み」及び「取組みを実現するための課題と方策」が一般的な説明にとどまらず、既存法人の運営実績を踏まえた具体的な取組みとして提案されており評価できる。

「複合施設」として、特養、GH、小規模多機能型居宅介護のそれぞれのサービス提供のあり方や連携の方策などの取組みが具体的に記載されていることに加え、小倉北区白銀地域の現状や特性を踏まえて、様々な関係機関と連携によるサロン活動が具体的に提案されており高く評価できる。

【正勇会】

各項目の「基本的な考え方」、「具体的な取組み」及び「取組みを実現するための課題と方策」が既存法人の運営実績を踏まえて具体的に記載されており、内容的にも一定レベルのものとして評価できる。

【千里会（設立準備会）】

施設と地域をつなぐための専門部署の設置や24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスへの取組みなど意欲的な提案がなされるとともに、各項目の「基本的な考え方」や「具体的な取組み」、「取組みを実現するための課題と方策」がこれまで運営してきた介護サービスの経験・実績に基づいて具体的に記載されており評価できる。

「複合施設」であるという点を踏まえた創意工夫や取組みの特徴の提案を重視しているところであるが、特養、GH、小規模多機能型居宅介護及び地域交流サロンのそれぞれのサービスや連携のあり方が、住み慣れた地域での生活をできるだけ継続させる観点からターミナルケアも視野に入れて具体的に提案されており評価できる。

【双葉会】

各項目の「基本的な考え方」、「具体的な取組み」及び「取組みを実現するための課題と方策」が一般的な説明にとどまらず、既存法人の運営実績を踏まえた具体的な取組みとして提案されており評価できる。

当該施設は、同法人が運営する隣接の特別養護老人ホーム双葉苑のサテライト施設として計画されており、地元町内会と地域防災協定を締結して、非常災害時の高齢者支援に取り組むことや同法人の地域コミュニティと連携して地域住民への生活支援を行うなどの取組みが提案されており評価できる。

【本城会】

「サービスの質の向上策」など一部の項目について「具体的取組み」の説明に関する記述が少ない部分もあるが、全体としては、大半の項目に関して、当該法人が運営する既存の特別養護老人ホームの実績を踏まえた提案内容となっており評価できる。

【選定に至らなかった法人に対する意見】

各項目における基本的な考え方の記載が少なく、法人としての基本認識や取組み方針が明確に示されていないものが多かった。

具体的な取組み内容の記載が少なく、また、一般的・抽象的な説明にとどまっており、その内容やそれを実現するための具体的方策が不明なものが多く、高い評価に結びつかなかった。

「複合施設」であるという点を踏まえた創意工夫や取組みの特徴の提案を重視しているところであるが、特養、GH、小規模多機能型居宅介護及び地域交流サロンのそれぞれの機能を具体的にどのように連携させ、どのようなサービスを提供していくかについての考えや取組みが記載されておらず不十分であった。

意見交換を行った後、採点結果及び付帯意見等についての分科会の意見を取りまとめ終了した。

- ・得点結果は、別途掲載